

事業者ルート帯案の選定

ルート帯の設定にあたっては、主要な集落や公園、企業団地への影響を最小限にするとともに、走行性・経済性を考慮しました。

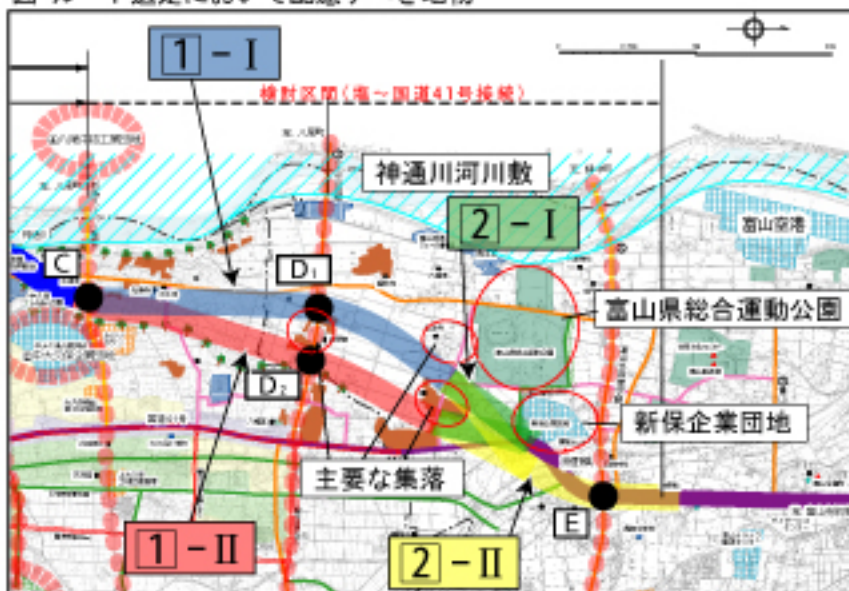
以下は、比較等に対して事業者が評価したものです。



詳しい図面は、次のページを見開いてください。

見開いてください

図 ルート選定において配慮すべき地物



① 「ルート帯の通過位置」による2案の比較

評価項目		事業者の評価	比較模式図 (高い位置にある方が、より優れていると判断しています)
分類	細目		
広域的な利用	走りやすさ・安全性	道路延長が短く、直線的な①-Ⅱが望ましい。	
まちづくり支援	将来的な土地利用	①-Ⅰは段丘面の中央を通過するため分断要素となる。 ①-Ⅱは、はば(崖線緑地)との間に残地が発生する。	
身近な生活環境	家屋の移転	家屋移転はどちらの案も大きな差はみられない。	
	営農への影響	どちらの案も農地の斜め分断が生じる。	
	自然環境、景観への配慮	どちらの案も詳細な調査が今後必要となる。 ※はば(崖線緑地)等の自然調査が必要	
経済性	経済性	①-Ⅱは直線的で延長がやや短いが、施工費に大きな差はない。(①-Ⅰは約90億円、①-Ⅱは約85億円。)	
これまでの住民説明会等 で出された意見		住民の皆さんから、できる限りはば(崖線緑地)へ近づけてほしいという意見がある。	

② 「国道41号(現道)との接続」による2案の比較

評価項目		事業者の評価	比較模式図 (高い位置にある方が、より優れていると判断しています)
分類	細目		
広域的な利用	走りやすさ・安全性	②-Ⅰは信号交差点となり、②-Ⅱに比べ走行性は低い。 一方、②-Ⅲは立体構造であり走行性・安全性も高い。	
施工性・経済性	施工のしやすさ	どちらの案も国道41号(現道)とつながる部分において施工上の工夫が必要となるが、どちらも大きな差はない。	
	経済性	②-Ⅱは立体構造となるため、施工費は②-Ⅰに比べ約3倍かかる。(②-Ⅰが約25億円、②-Ⅱが約90億円。)	